施工業者様用

施 工 説 明 書
ダイケン 温水暖房床 はるびより

このたびはダイケン温水暖房床「はるびより」をお買上げいただき、誠にありがとうございます。
施工の際には本説明書をよく読み、手順通りに正しく施工してください。

必ずお守りいただきたいこと

⚠注意

(1) 本製品は必ず12㎜厚以上の耐水合板上に施工してください。改築等の場合は、12㎜厚以上の合板基材フロアー上に施工してください。（防音フロアー、無垢フロアー、クッションフロアー等の場合は張り替えてください。）
(2) 床下地材としてパーティクルボード、ＯＳＢ、石こうボードおよび遮音マット、インシュレーションボードは使用しないでください。
(3) 合板下部に50㎜厚（24kg以上）グラスウール相当の断熱材を必ず施工してください。
(4) ヒーターパネルは長辺オザネ以外の部分への釘打ち、アンカーボルト等の打ち込みは絶対に行わないでください。
温水パイプが傷つき漏水の原因となります。
(5) 本製品は住宅室内用（上履き用）の暖房床です。店舗、事務所、重歩行用（土足用）には使用できません。
(6) 施工時に温水パイプや接続継手に傷をつけないでください。
漏水の原因となります。
(7) 本製品は保管、施工時の水濡れ及び、濡れた下地への施工は行わないでください。
床暖房使用時にパネルが大きく変形したり目すきが発生する原因となります。
(8) パネルの施工には、必ずあたたか用ボンドＬと38㎜フロアーネイルまたは38㎜フロアー用ステープルを使用してください。
指定以外の接着剤やフィニッシュネイルで施工すると、床鳴りや目すき発生の原因となります。
又、指定以外の接着剤が温水パイプに付着すると、パイプが劣化し漏水の原因となります。
(9) ヒーターパネルの施工は必ず2人で行い、温水パイプを折ったり傷つけたりしないでください。
温水パイプの折れや傷つきは漏水の原因となりますので、パイプが折れたもの、傷ついたものは施工せずに製品をお取り換えください。
(10) 本製品および専用接着剤「あたたか用ボンドL」は、ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆で建築基準法（シックハウス対策）による施工面積の規制を受けません。
工事店様でご準備していただく、施工に関連する部材（下地合板等）の施工においても、建築基準法（シックハウス対策）に対応したホルムアルデヒドの放散量が少ない材料を使用してください。

※ネオテク加工製品については美装時のワックス掛けは必要ありません。

参考

(1) 本製品の配管接続作業は全て床下で行いますので、作業スペース（約400mm）の確保と床下点検口を必ず設置してください。

危険の定義とシンボルマーク

本施工説明書では「警告」「注意」「参考」を右のような定義で使用しています。

⚠警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠注意 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

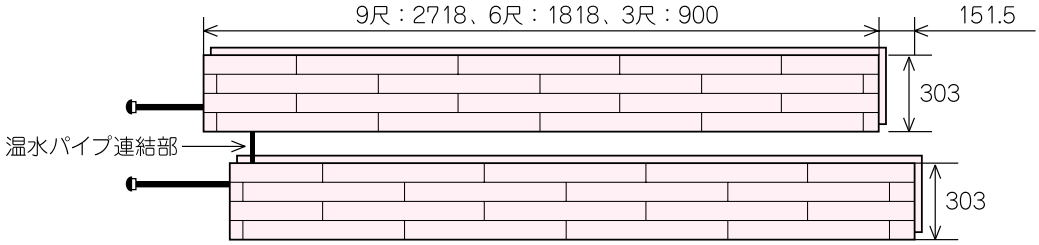
参考 施工上誤り易いミスに関する事項。

1．製 品 内 容

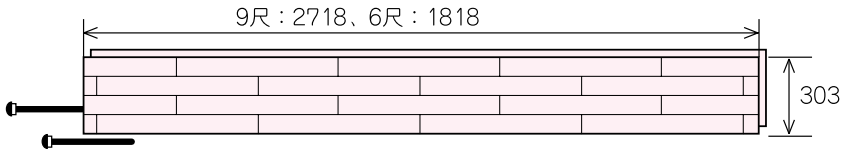
製 品 種 類	サ イ ズ	梱包入り数	パ ネ ル 仕 様
9尺ヒーターパネル	12×303×2718×2枚	2枚1組入／梱	パネル全面に温水パイプが入っていて切断・加工はできません。
6尺ヒーターパネル	12×303×1818×2枚	2枚1組入／梱	
3尺ヒーターパネル	12×303×900×2枚	2枚1組入／梱	
9尺ヒーターSパネル	12×303×2718	1枚／梱	
6尺ヒーターSパネル	12×303×1818	1枚／梱	
6尺ボーダーパネル	12×303×1818	6枚／梱	周辺部の納まりに使用するパネルで温水パイプは入っていません。
3尺ボーダーパネル	12×303×900	6枚／梱	

2．製 品 姿 図 （寸法単位：mm）

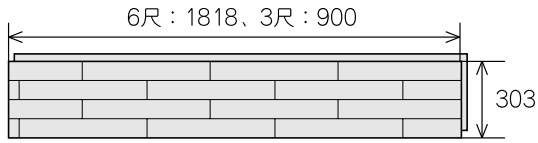
(1) ヒーターパネル



(2) ヒーターSパネル



(3) ボーダーパネル



⚠ **注意** 9尺ヒーターパネル（9尺ヒーターSパネル）は3尺と6尺サイズのパネルを縦つなぎしてありますので、運搬や施工中にパネルの継目が折れないよう、取り扱いには十分ご注意ください。

3．施 工 手 順

1．下 地 工 事

↓

2．墨 出 し

↓

3．穴 あ け

↓

4．床 工 事

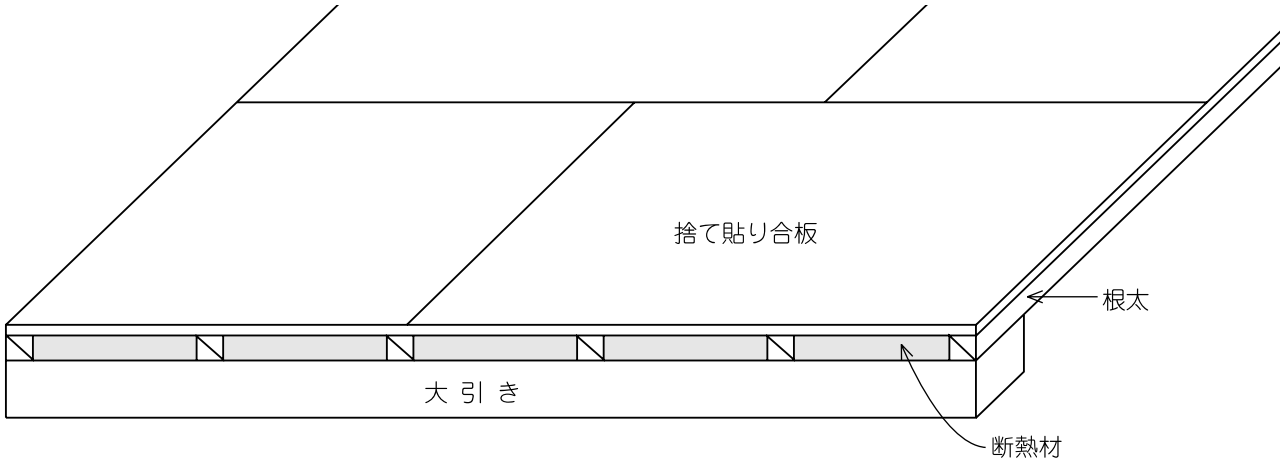
↓ 大工工事完了

5．配管工事・試運転　配管業者

4. 施 工 方 法

(1) 下地工事

- 根太材は厚みの揃った乾燥材をご使用ください。
- 根太間隔は303㎜以下とし、同じ大引き上に継ぎ目が揃わないように施工してください。
  又、大引き間隔は909㎜以下としてください。
- 捨て貼り合板は12㎜厚以上の耐水合板を、根太上に接着剤と釘を併用してレンガ貼りとし、継ぎ目の段差がないようにしてください。



⚠注意 濡れた下地への施工は行わないでください。床暖房使用時にパネルが大きく変形したり目すきが発生する原因となります。

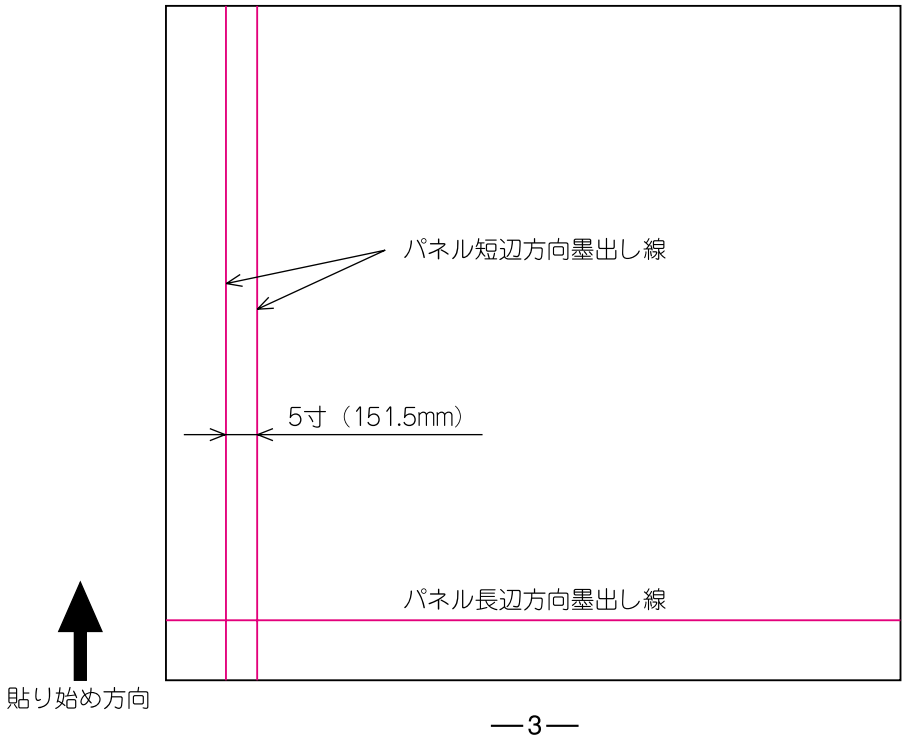
参考 (1) 捨て貼り合板下部に50㎜厚（24㎏以上）グラスウール相当の断熱材を必ず設置してください。
(2) 本製品の配管接続は全て床下で行うため、作業スペースとして床高約400㎜と床下点検口が必要です。

(2) 墨出し

ヒーターSパネルを施工する場合は、ヒーターSパネルに同梱の施工説明書に準じて【墨出し】【穴あけ】を実施してください。

- パネルの割り付け図に従い、下図のように墨出しを行います。

参考 (1) パネルの張り方向に対し根太方向がどちらの方向になっているか確認してください。
(2) 根太と後記の穴あけ位置が重複する場合は、墨出し位置をずらしてください。
(3) 2×4住宅の場合、転び止めと穴あけ位置が重複しないよう墨出ししてください。

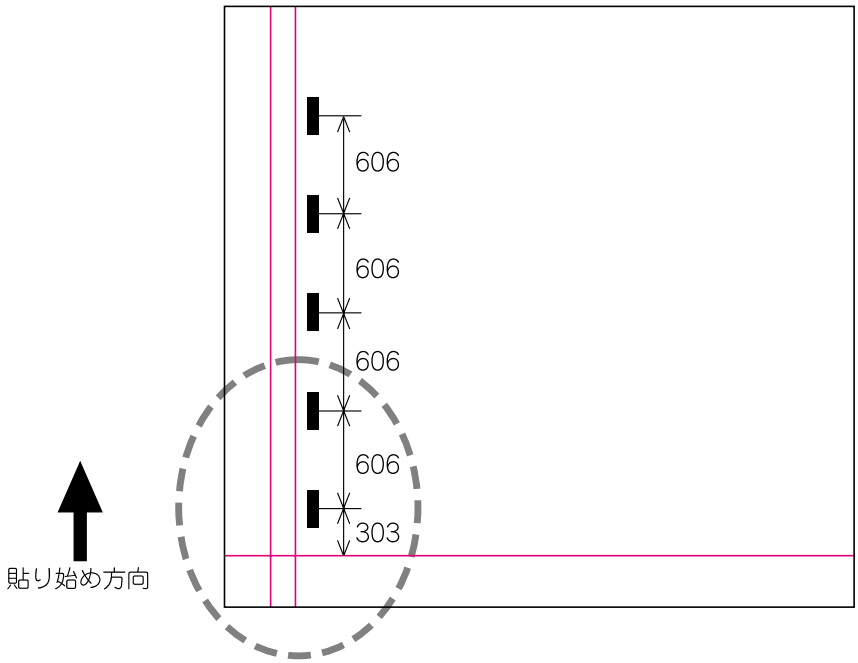


(3) 穴あけ

● パネルの割り付け図に従い温水パイプ落し込み用の穴あけを行います。

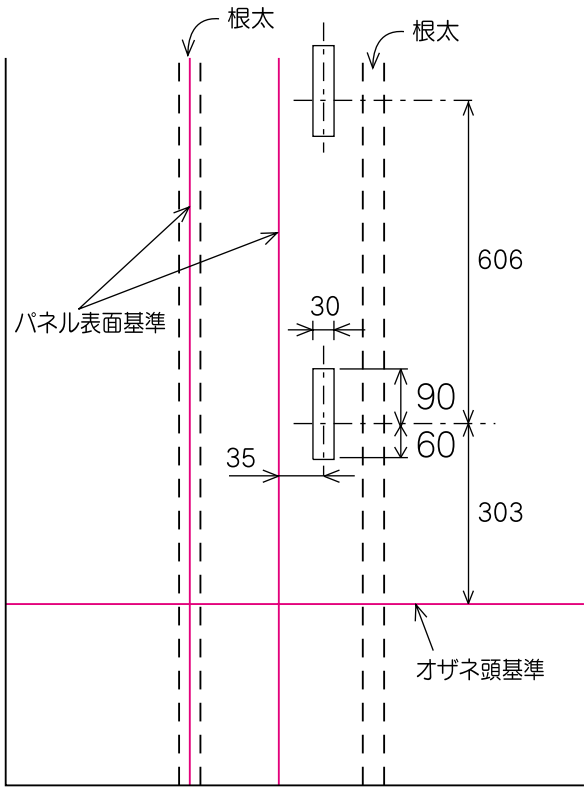
⚠注意 穴あけ部は合板のケバダチ等がないよう、なめらかに仕上げてください。
ケバダチ等があると、温水パイプが傷つき、漏水の原因となります。

参考 (1) 根太と穴あけの位置が重複する場合は、墨出し位置をずらしてください。
(2) ヒーターパネルを長辺方向に2列以上設置する場合は、各列で墨出しを行い穴あけしてください。

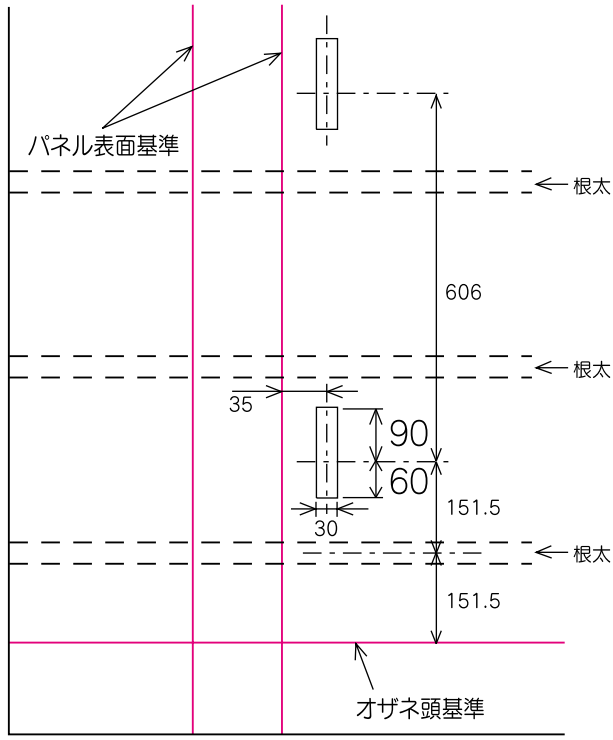


部拡大図

● パネルと根太が直行になる場合



● パネルと根太が平行になる場合



(4) 床工事

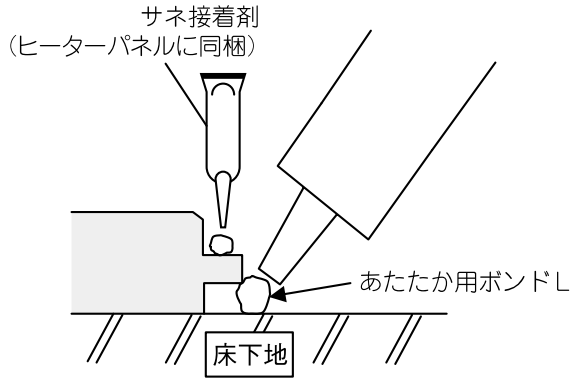
- パネルの割り付け図に従い、貼り始め側のボーダーパネルから施工を始めます。
- 施工にはあたたか用ボンドＬと38㎜フロアーネイルまたは38㎜フロアー用ステープルを併用してください。フィニッシュネイルでは行わないでください。

参考 指定以外の接着剤やフィニッシュネイルで施工すると、床鳴りや目すき発生の原因となります。

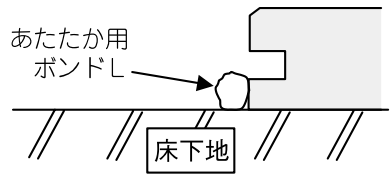
- ヒーターパネルの施工は次の順序で行います。

(i)貼り始めのボーダーパネルを施工した後、下図のようにパネル１枚分303㎜幅、約300㎜間隔で接着剤を下地に塗布します。
短辺ジョイント部には下図のような位置にあたたか用ボンドＬとヒーターパネルに同梱のサネ接着剤を塗布してください。
短辺部を寄せた時に、表面側へはみ出したサネ接着剤はしぼった濡れ雑巾でふきとってください。（サネ接着剤は水性です）

【断面拡大図】



参考 メザネ部に接着剤を塗布する場合は、メザネ下アゴ部手前に接着剤を塗布してください。

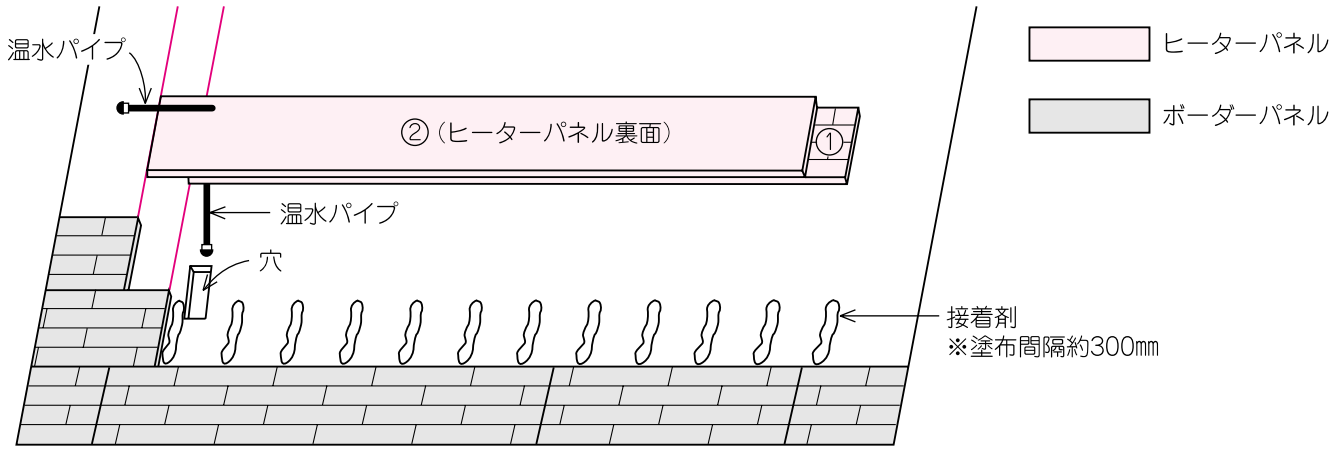


ヒーターパネルを腹合わせ（2枚重ね）のまま、パネル①の温水パイプを穴より床下に落としながら設置してください。

参考 ヒーターパネルの結束バンドはハサミで切り取ってください。

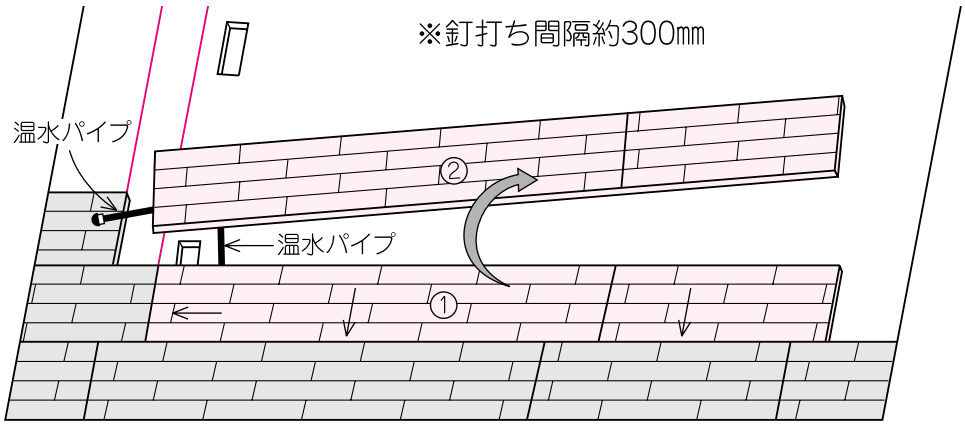
⚠注意 (1) 結束バンドを切り取る際にパイプを傷つけないようにご注意ください。

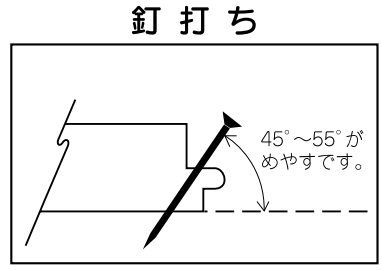
(2) パネルの施工は必ず5寸(151.5㎜)ずらしてください。
温水パイプ連結部が損傷し漏水の原因となります。



(ii)次に、ヒーターパネルを腹合わせの状態からパネル②を反転させて開き、パネル①をボーダーパネルに寄せて釘で固定します。この時、釘は45°～55°の角度を目安にして打ってください。

⚠注意
（1）釘打ちは長辺のオザネ以外には打たないでください。
長辺のオザネ以外に釘を打つと、温水パイプを傷つけ、漏水の原因となります。
（2）パネル②を反転させる時や、パネル①を寄せる時に、温水パイプを折ったり、傷つけたりしないでください。漏水の原因となります。





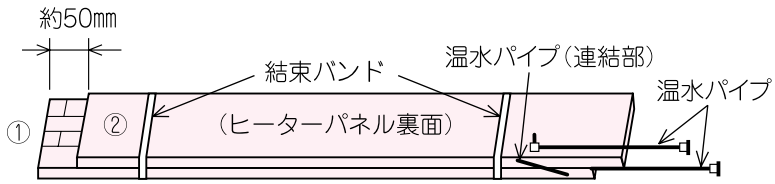
ヒーターパネルを反転させる場合の注意点

⚠注意 温水パイプを折らないように､又､傷つけないように､ヒーターパネルの反転作業は必ず2人で行ってください。
温水パイプが折れたり、傷つくと漏水の原因となります。

(1) ヒーターパネルを反転させて開く場合

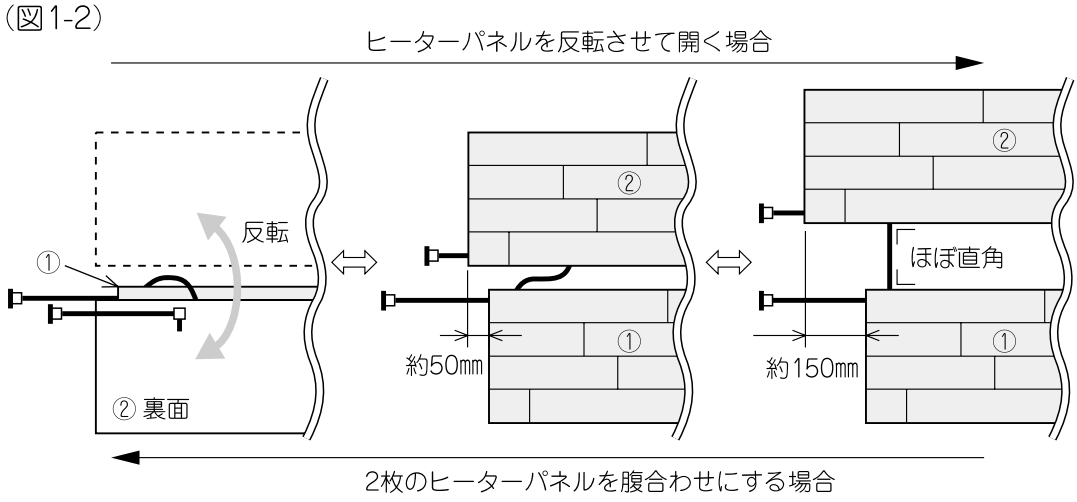
ヒーターパネルは2枚セットで、約5㎝ずらして腹合わせにしてあります。(図1-1)

(図1-1)



②のパネルをゆっくり反転させて、約50㎜のずれを約150㎜にずれを大きくするようにずらして開きます。パネルを連結するパイプはパネルに対してほぼ直角になります。この時2枚のパネルは約5寸(151.5㎜)ずらした状態です。（図1-2）

（図1-2）

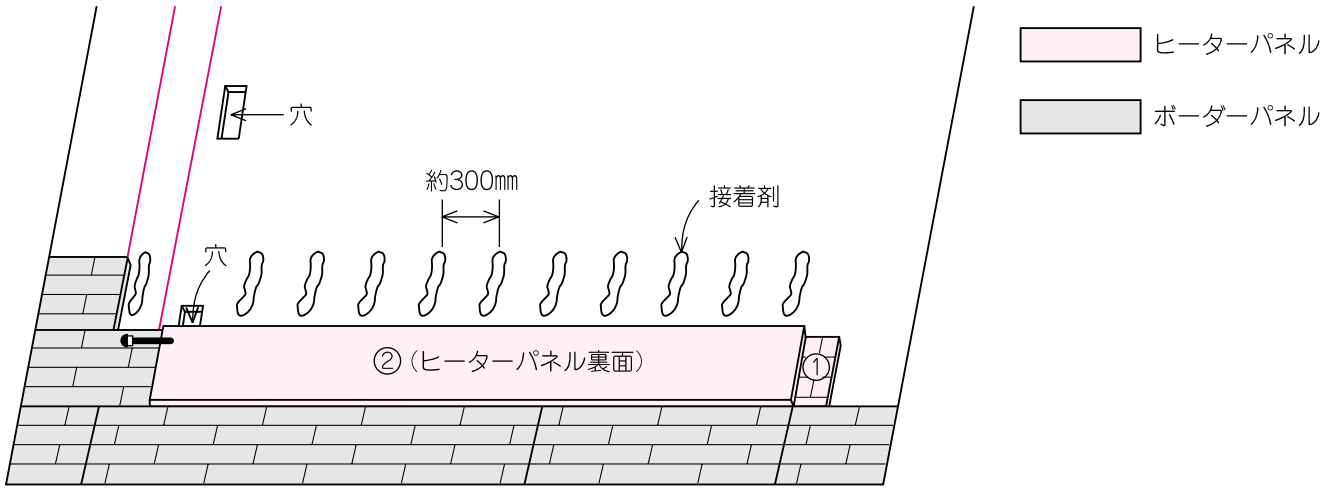


(2) ２枚のヒーターパネルを腹合わせにする場合

温水パイプで連結して開いた状態のヒーターパネルを重ね合わせる場合、約150㎜のずれを約50㎜にずれを小さくするようにずらし、②のヒーターパネルをゆっくり反転させて、①のヒーターパネル上に腹合わせにします。パネルを開く場合と逆の手順です。（図1-2）
最終的に上記図1-1の様な状態にします。

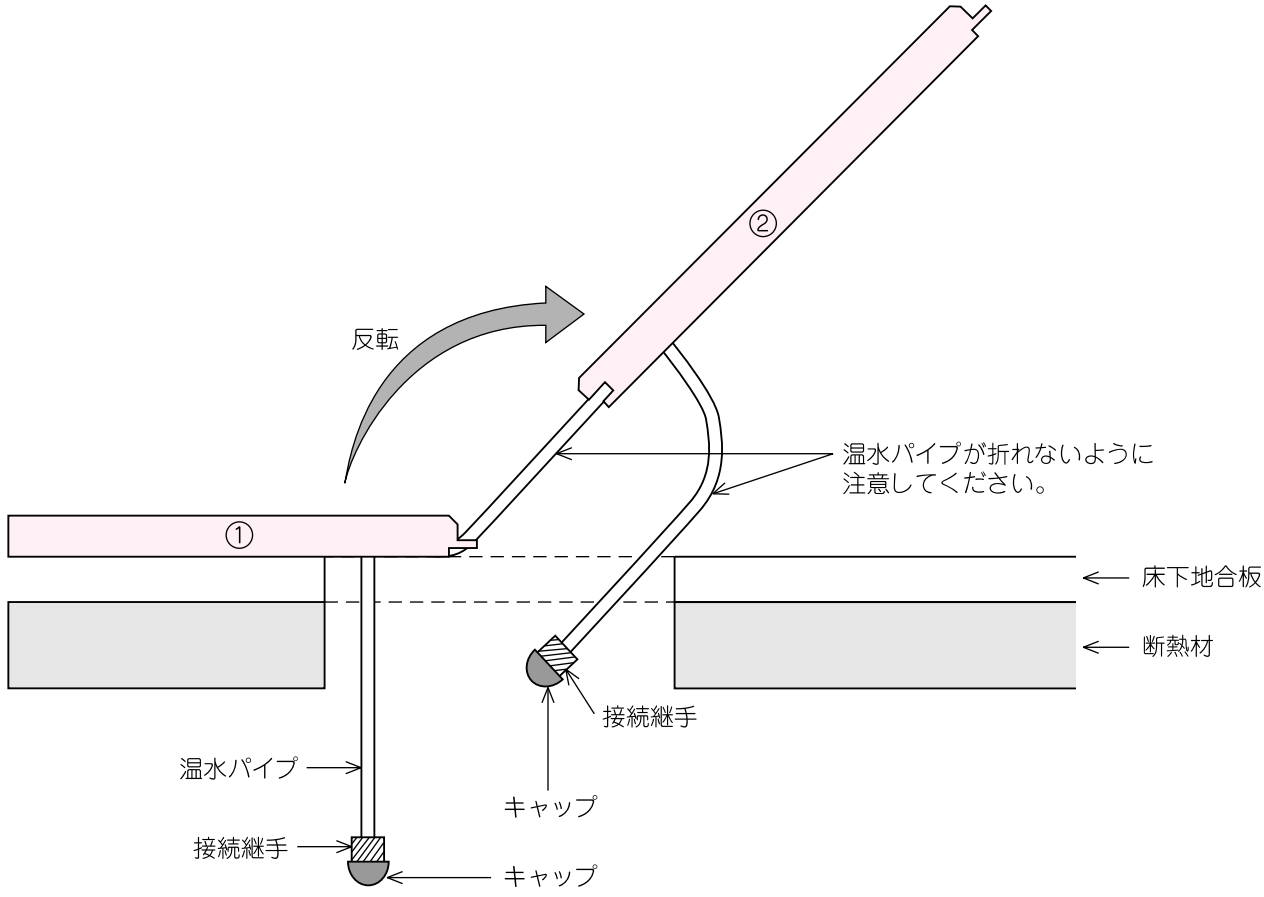
(iii) パネル①を釘打ちした後、パネル②を反転させてパネル①と腹合わせにします。次に、パネル②を設置する部分の下地に前記と同様の要領で接着剤を塗布します。

⚠注意 パネルを反転させる時や、パネル①を寄せる時に、温水パイプを折ったり、傷つけたりしないでください。
漏水の原因となります。



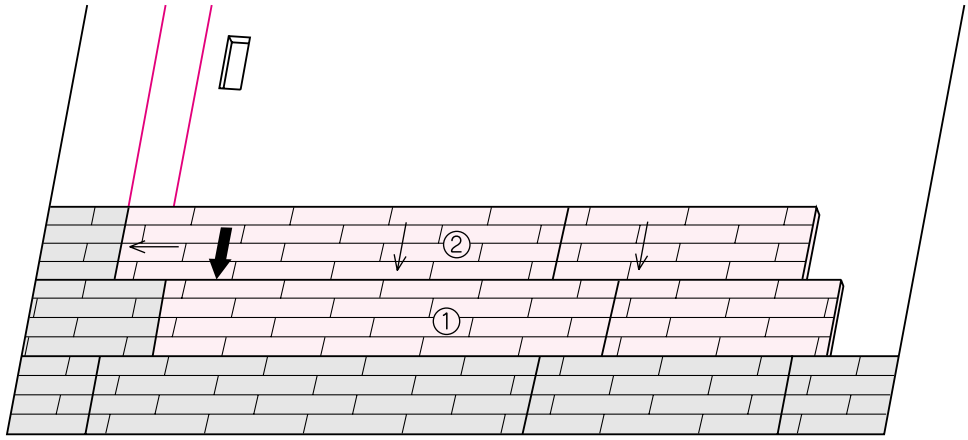
(iv) 接着剤を塗布した後、下図のようにパネル②の接続継手の付いた温水パイプを床下に落としながら反転させます。

⚠注意 (1) パネルを反転させる時、温水パイプを折ったり、傷つけたりしないでください。
漏水の原因となります。
(2) 接続継手に付いているキャップは外さないでください。チリ・ホコリの侵入による管のツマリや、接続継手が傷つき漏水の原因となります。

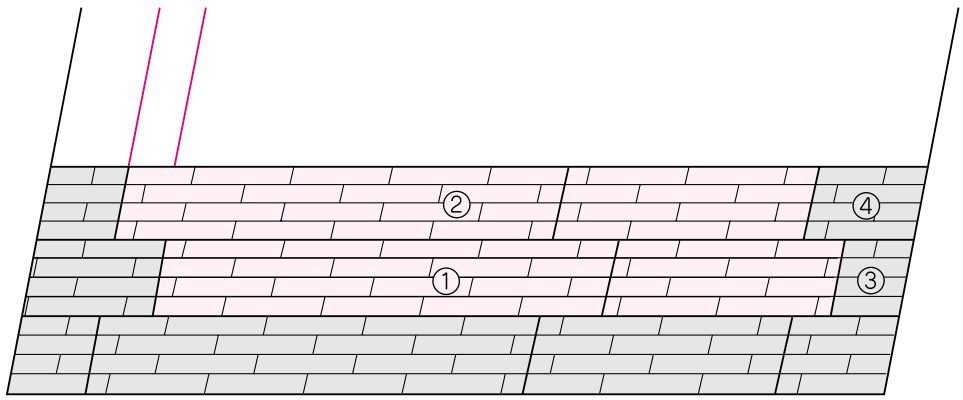


(v) パネル②を反転させた後、パネル①へ寄せて釘打ちしてください。

⚠注意 図の太い矢印部分（温水パイプを床下へ落とした部分と温水パイプの連結部分）の寄せは、温水パイプが折れないよう、ゆっくり寄せてください。
温水パイプが折れると漏水の原因となります。



(vi) ①と②のヒーターパネルを施工した後、③④の順番でボーダーパネルを施工します。



● 後は、前記(i)～(vi)の工程を繰り返し、パネルを順次施工して、最後はボーダーパネルで部屋の端部を納め施工終了です。

⚠注意 温水パイプが折れたり、傷ついたりしたものは、施工せずに製品をお取り換えください。
温水パイプの折れや傷つきは漏水の原因となります。

参考 **熱源器の設置、床下の配管・配管接続についてはお近くの熱源器メーカー指定工事店様にご依頼ください。**
（都市ガス会社の床暖房工事店様等）

工務店様へ：同梱の取扱説明書は必ずお施主様へお渡しください。

大建工業株式会社

製品に関するお問い合わせ先	東京　内装材事業部　東部営業課	☎03-3249-4876
	三重　内装材事業部　西部営業課	☎059-255-0641
品質に関するお問い合わせ先	東京　内装材事業部　東部品質保証課	☎03-3249-4815
	三重　内装材事業部　西部品質保証課	☎059-255-0646
本社	大阪市北区堂島1丁目6番20号（堂島アバンザ）	〒530-8210　☎06-6452-6000

08.9（05.7 P5）